

平成30年3月期

# 第2四半期決算説明資料

平成29年11月7日

# 平成30年3月期 第2四半期決算概要

## 平成30年3月期第2四半期損益計算書

単位:百万円

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比
売上高	7,884	7,617	97%
売上総利益	2,164	2,126	98%
販売費及び一般管理費	1,970	1,972	100%
営業利益	193	153	79%
営業外収益	17	6	38%
営業外費用	17	9	56%
経常利益	194	151	78%
税引前四半期純損益	194	151	78%
法人税等	60	46	77%
四半期純利益	134	105	78%

# 平成30年3月期第2四半期貸借対照表

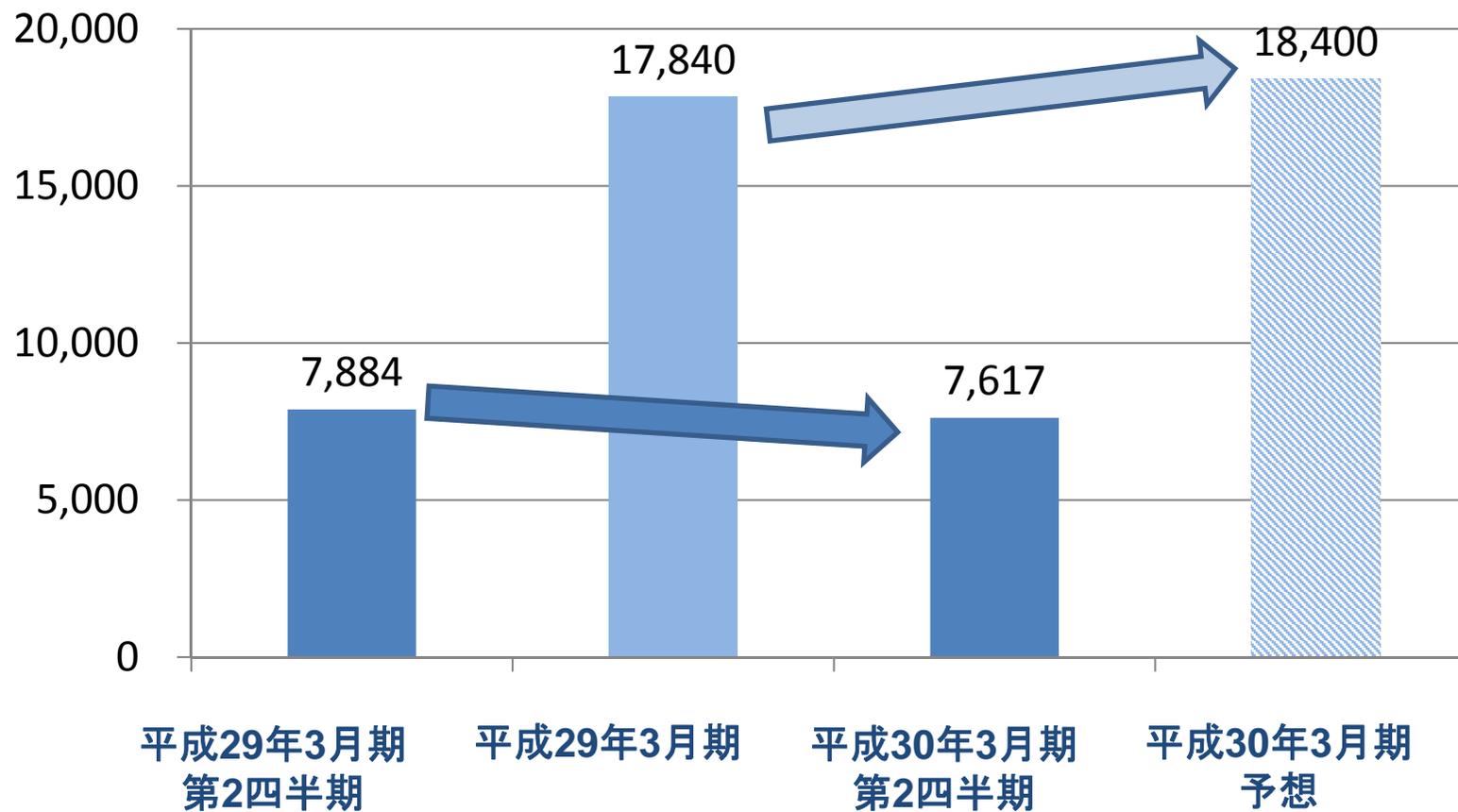
単位:百万円

資産の部	前事業年度	当第2四半期
流動資産	10,594	10,500
現金及び預金	5	4
受取手形及び売掛金 電子記録債権	6,346	5,613
棚卸資産	1,811	2,426
繰延税金資産	283	283
短期貸付金	2,114	2,128
その他流動資産	32	43
固定資産	3,465	3,734
有形固定資産	2,148	2,445
無形固定資産	251	223
繰延税金資産	847	846
投資その他の資産	218	218
資産合計	14,059	14,234

負債・純資産の部	前事業年度	当第2四半期
流動負債	6,209	6,259
支払手形及び買掛金 電子記録債務	4,100	3,942
未払法人税等	200	88
その他流動負債	1,907	2,227
固定負債	2,707	2,875
退職給付引当金	2,678	2,848
その他固定負債	28	26
負債合計	8,916	9,135
資本金	1,460	1,460
資本剰余金	1,228	1,228
利益剰余金	2,450	2,404
自己株式	△23	△24
株式等評価差額	27	30
純資産合計	5,143	5,099
負債・純資産合計	14,059	14,234

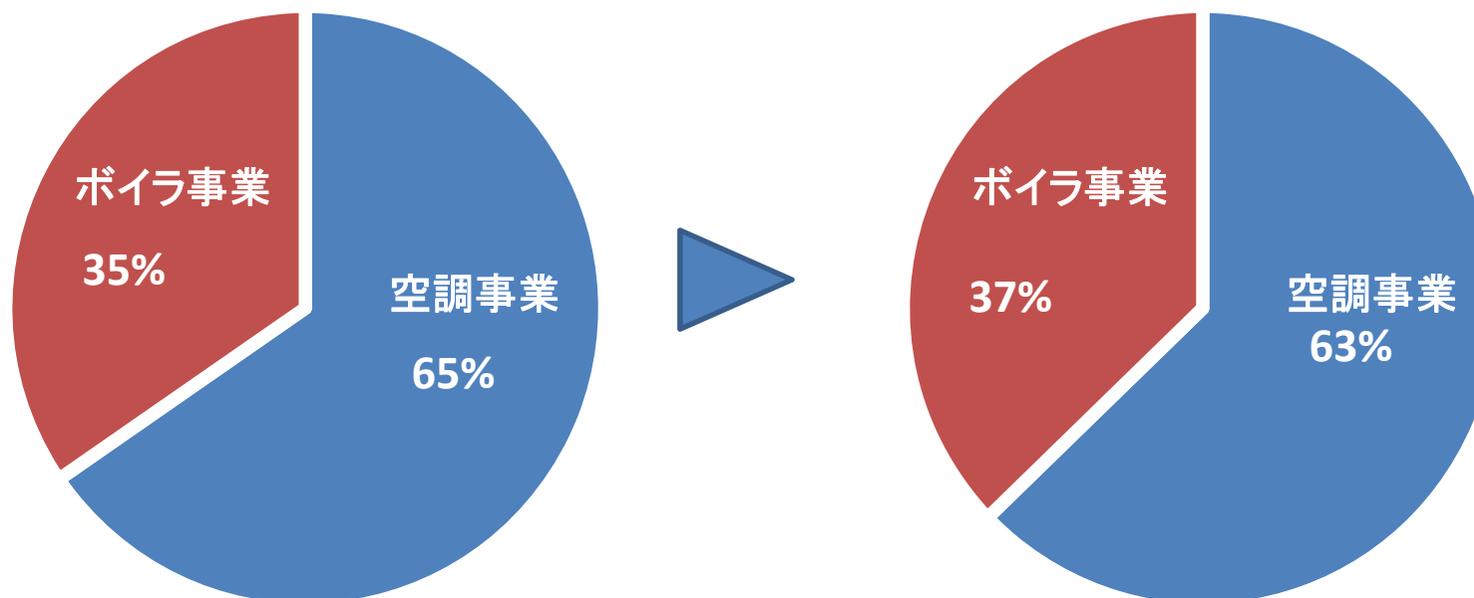
## 売上高の推移

単位:百万円



## 売上高構成比の比較

---



平成29年3月期  
第2四半期

平成30年3月期  
第2四半期

## 事業区分別分析

---

### 空調事業

#### <受注高>

保守点検・改修改造工事は前年同期並みで推移したものの、前年同期に比べ空調機器の付帯工事付大型案件及び長期の年間保守契約が減少したことにより、前年同期から減少しました。

#### <売上高>

前年同期に比べ空調機器の付帯工事付大型案件が減少したことにより、前年同期から減少しました。

### ボイラ事業

#### <受注高>

前年同期に大口のボイラ機器の受注があったことにより、前年同期から減少しました。

#### <売上高>

保守点検・改修改造工事の増加により、前年同期から増加しました。

# 平成30年3月期 業績予想

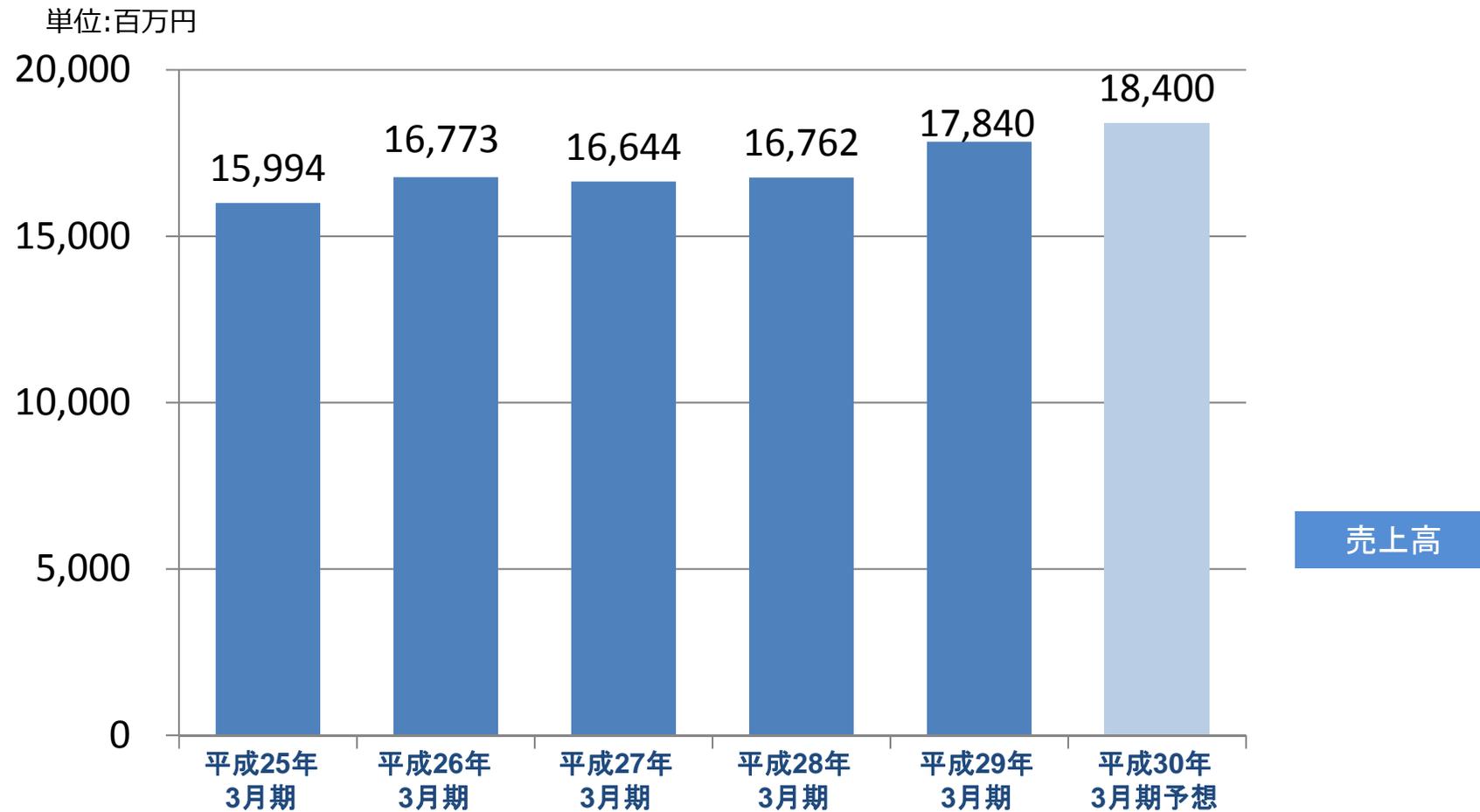
## 平成30年3月期の業績予想

---

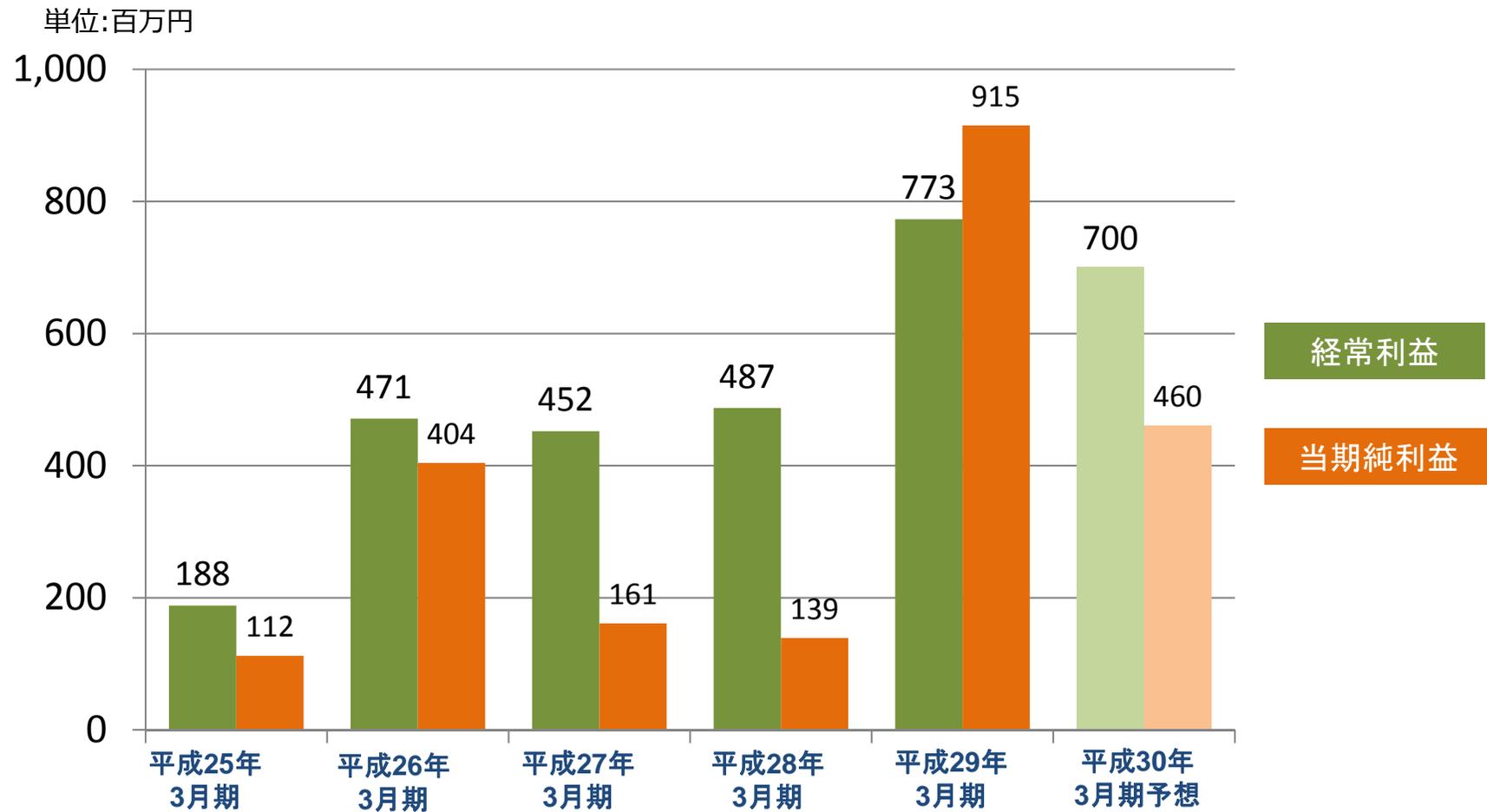
単位:百万円

	平成29年3月期	今期予想	前期比
売上高	17,840	18,400	103%
営業利益	767	700	91%
経常利益	773	700	91%
当期純利益	915	460	50%

## 売上の推移（予想）



## 利益の推移（予想）



# 事業区分別計画

---

## 空調事業

- ① 「省電力」「高効率」「排熱の高度利用」をキーワードに、機器単体のみでなく空調設備全体の省エネルギーを提案するソリューション営業活動の更なる強化に取り組んでまいります。
- ② 主力機種である吸収冷温水機「エフィシオ」については、平成27年4月の主要機種ラインアップ完了により、業界トップレベルの高性能・高効率を前面に、更なる拡販に努めてまいります。

## ボイラ事業

- ① 大型貫流ボイラ「イフリート」に続き、小型貫流ボイラ「WILLHEAT（ウィルヒート）」を業界最長となる15年の長期保証付きで平成28年10月に販売開始し、お客様の高効率・省エネルギーへの要望に幅広くお応えすることでこの市場でのシェアアップを図ってまいります。
- ② 「排熱の高度利用」を目指し、川崎重工グループのガスタービン・ガスエンジンを中心に、排熱ボイラ「RG」、「RF」を採用いただけるよう積極的に取り組んでまいります。

## 本資料に関する問い合わせ

「快適」をあなたの<sup>いま</sup>現在と未来へ



企画室 経営管理部

TEL 077-563-1111

### ご注意

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことはお控え下さるようお願いいたします。